

歴史的因果関係を追究し、文章にまとめ上げる力 を育む社会科学習の在り方

— 『説明モデル』、Jamboard の活用を通して—

1. 研究主題
2. 設定理由
3. 指導観
4. 研究の目標
5. 研究仮説と手だて
6. 研究の内容・方法
7. 仮説の検証・授業の実際
8. 結論
9. 研究の成果と課題

西村 三郎 (ニシムラ サプロウ)

第四部会・八街市立八街中央中学校

1 研究主題

歴史的因果関係を追究し、文章にまとめ上げる力を育む社会科学習の在り方 —「説明モデル」、Jamboard の活用を通して—

2 主題設定の理由

(1) 社会的背景から

私たち人類は、長らく争いを続けてきた。特に 20 世紀には数千万人の犠牲者を出す悲惨な大戦を 2 度も経験してきた。その反省として、戦後では国際連合といった組織が出来上がるなどしたが、戦争が止むことはなかった。加えて、2019 年以前から、米中対立が激化したこと、2020 年には「ナゴルノカラバフ問題」、「パレスチナ紛争」、「中印国境紛争問題」が再燃したことも記憶に新しい。これは我が国にとっても対岸の火事ではない。領土問題や政治的課題が存在している現状である。これらの出来事に共通しているのが「歴史的事象が積み重なって、今日までに至っている点」である。起きた出来事に対する因果関係の追究は物事の「原因」を追うことに繋がり、「原因」が分かれば「問題解決」への糸口へとなるはずである。

また、高等学校では新たに『歴史総合』という科目が創設される。日本・世界の近現代史における歴史的事象を、諸資料を用いて多面的・多角的に分析し、「自分の意見としてまとめ上げて説明すること」が求められている。従来の知識偏重傾向にある歴史教育の脱却を図る動きが起きている。中学校段階でも、歴史的事象の因果関係を追って、自分の意見として文章化できる素地を養う必要性があると言える。

(2) 学習指導要領から

本研究は、平成 29 年 3 月に告示の中学校学習指導要領の社会科〔歴史的分野〕の目標(1)「我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。」と目標(2)「歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。」に関連している。特に、目標(1)からは現代社会で起きている出来事の歴史的起因を追い、思考・判断して説明すること、目標(2)からは歴史的事象の繋がりを諸資料から広く分析し、原因と結果の関係性を追うことが重要であると言える。そして、これらの目標が達成されることにより、学習指導要領における「歴史的な見方・考え方」を養うことにも繋がるのである。

(3) 印教研研究主題から

よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学習
～自ら課題を見出し、自らの考えを表現できる児童生徒の育成を目指して～

よりよい社会の実現をするためにも、歴史から学んだ事を現在に生かしていかなければならない。歴史で起こった大きな出来事には必ず原因がある。その因果関係を見出した後に見える反省点を考えていくことができれば、平和な社会の寄与に繋がる。現代社会をより良くしていこうとする生徒を育成するためにも、歴史を深く掘り下げて、視野を広くする活動は必要である。

(4) 生徒の実態から

生徒は八街中央中学校の3学年を対象とする。明るく前向きに、集中して授業に取り組んでいる。更なる実態把握をするため、アンケートを取った。回答は資料編P1に記載した。

アンケートの結果より、歴史学習に対する意欲は高いと言える。一方で、日本・世界史分野において一定数、好きとは言えない生徒がいるのも事実である。全体的には肯定的な意見が目立った。しかしながら、以下の課題が挙げられる。

①受験に関連する「困り感」はあるが、実社会での「困り感」がない。

生徒の挙げた困り感からは「人物や年号を覚えることが多い」「漢字が大変」といった意見が多く挙げられた。歴史に対して「暗記」という認識が強く、その困り感は現在直面している「受験に関連したもの」に結び付いている。アンケートで「歴史学習には意義がある」と答えた生徒でさえ、受験が終われば、その困り感は消失する可能性が高い。それで完結するのは非常に勿体無いと私は考える。歴史に対する意欲が高いからこそ、歴史から学び取って、現在に生かしてほしい。もしも「結果」から「原因」を挙げ、関係性が見出せれば、その原因を発生させないように努められるであろう。例えば、江戸幕府はなぜ崩壊したかを考えれば、内政不振、外交、財政悪化、新興勢力の台頭など、様々な原因が挙げられる。このことから、財政が悪化すると国家の存亡に関わることが見出せ、そうしないためにはどうするかが考えられる。この様に、結果から因果関係を追い、原因を見出して対策を講じようとする姿勢・視点は、学校生活に限らず、生徒にとって生かせるものとなるであろう。

②歴史的因果関係を追うことに困難を感じている。

例えば「第一次世界大戦の原因は何ですか？」と聞いた場合、「サラエボ事件」と答えられるが、そこに至るまでの経緯を深掘りすることを苦手としている。個々の事象を押さえることは出来るが、学んだ出来事である「点」を結び付けるまでには至っていない。アンケートから「年号が覚えられない」という意見が目立った。その背景には生徒が歴史の並べ替え問題を苦手としていることがある。確かに年号を覚えていれば、テストの問題は出来るかもしれない。しかし、出来事の原因や結果を追い、流れがつかめれば解答できるのであって、この問題を苦手としているということは、すなわち、歴史の因果関係が掴めていない証拠と言えよう。

③現代と過去の歴史との関連が見えておらず、現在の国際的問題への関心も薄い。

歴史学習への関心は高く、アンケートには歴史を学ぶ意義を書けた生徒も多い。しかし、具体的に現代で起きている諸問題が、習ってきた歴史的な事象とどのように関連するのかが見えていない。「過去から学べることはあるが過去と現代との結びつきが見えていない」のが現状である。出来事の原因は何だったのか、なぜこうなったのかを考えさせる機会があれば、現代に生きる生徒が現代的な諸課題を解決する糸口が見つかり、その結びつきが見出せるであろう。

④論述を苦手とする生徒が多い。

アンケートの結果から、論述を苦手と感じる生徒が多いことが分かる。書くためには、書くための材料を理解し、結び付けていくことが求められる。

以上の点を踏まえて、まずは歴史の繋がり、すなわち歴史的因果関係を見出させたい。因果関係には「原因」と「結果」が介在しており、「原因」を無くす手立てが導き出せる力が付けば、同じ結果になりにくいはずである。歴史学習を通じて「原因」を追究する姿勢は、様々な場面でも応用ができる。

3 指導観

以上の設定理由から、歴史的事象の因果関係を追究し、分析して文章にまとめ上げる活動を取り入れたい。そこで幅広く歴史を見る視野を養う。そして2年生から3年生になるにつれて歴史は現代に向かっていく。現代史を扱う場面で再度、歴史を大観する。出来事の根源を追い求めていくことで、歴史的な教訓を見出すほか、国際社会の出来事への関心も高めたい。

4 研究の目標

歴史的因果関係を追究するために、授業に工夫を施し、歴史的事象の原因を追い求めていく力を養う。原因から結果を説明し、最終的に文章にまとめあげる力も養う。

5 研究仮説と手立て

【仮説1】

「結果」と「原因」の因果関係を観易い形で整理ができれば、生徒の思考も整理され、説明することや文章化することが容易になるだろう。

手立て①「結果」→「原因」→「時系列・重要順に並び替え」→「原因から結果を説明する」方法の普及

まずはどうして因果関係を追うことが大切なのか、必要性を生徒に実感させる。身近な事例を基に「結果」から「原因」を挙げさせ、重要順に並べ替えさせて、最後に『「原因A」があったから、『結果』になった。だから『原因A』は非常に大切だ。』と整理させる。これを歴史にも応用できれば、因果関係を掴み、歴史の流れも押さえられる手立てとして有効であることを生徒に普及する。なお、歴史的因果関係という観点で、③の並び替えは時系列に沿って行えば、流れや関係性も上手くいくであろう。

手立て②『説明モデル』を用いて、「原因」と「結果」を関連付ける

本研究を実践するにあたり、先行研究を搜索した。その先行研究は、船田次郎先生(現：島根大学大学院教育研究科教授)の『説明モデル』である。『説明モデル』とは歴史の各要因を「説明変数」という語句で表し、関連付けて説明する。「原因＝独立変数(X)」と「結果＝従属変数(Y)」、「具体的事例かつ原因と結果を結び付けるもの＝媒介変数(Z)」とする。図式は以下のとおりである。※(1)

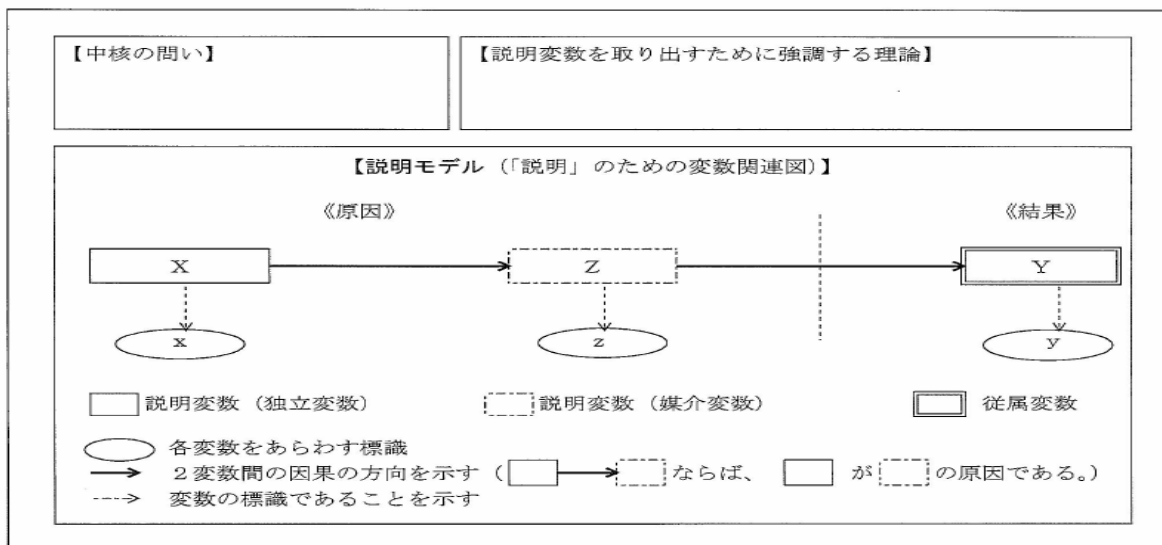


図1 「説明」のための手だて (『説明モデル』のフレーム)

図式化する上で、中核となる問い、強調する理論を設定し、原因を掘り下げていくのである。船田次郎先生が実際に設定した「中核の問い」と「説明変数を取り出すために強調する理論」は右上の表の通りである。※(2)

【中核の問い】 なぜ、幕府は永仁の徳政令を出したのだろうか。	【説明変数を取り出すために強調する理論】 分割相続や貨幣経済の浸透、元寇での恩賞問題や役負担により窮乏化していた御家人を救済するためではなく、御家人制度そのものの崩壊を防ぐために永仁の徳政令を出したのではないか。
-----------------------------------	---

永仁の徳政令が出された背景を「御家人制度の保持」という理論から派生させ、御家人が窮乏した原因を多角的に考察するのである。そして、船田次郎先生が実際に授業で生徒と作り上げた『説明モデル』は以下の通りである。※(3)

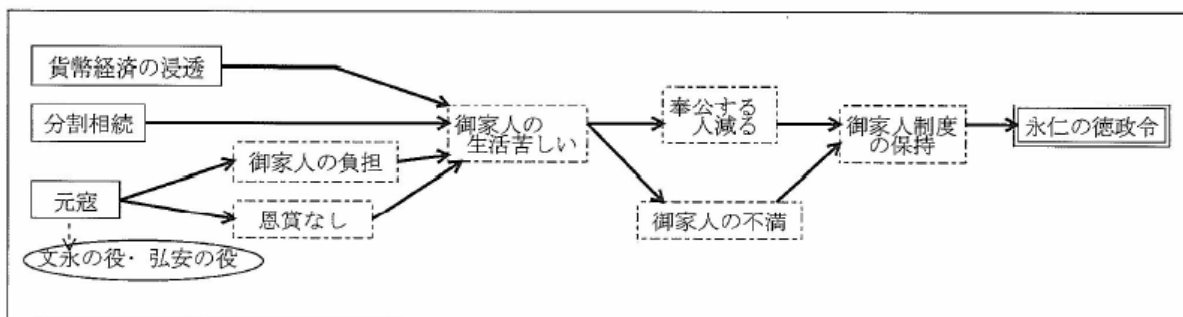


図2「クラスで完成させた『説明モデル』」

このクラスの生徒は「貨幣経済の普及や分割相続、元寇での御家人の負担や恩賞無獲得が御家人の窮乏を生み、御家人の不満が高まったことは幕府の基盤である御家人制度に影響を与える。その御家人制度の保持のために幕府は徳政令を出した。」と説明ができた。『説明モデル』を学級全体で考え、深め、作り上げることで思考が整理された。原因が判明できるほか、一連の流れも説明できるこの『説明モデル』は生徒にも有効であると考えられる。

【仮説2】

『説明モデル』の作成と Google Jamboard を組み合わせれば、歴史的因果関係を追究する活動がより活性化されるだろう。

手立て③Google Jamboard の活用

先程、紹介した手立て①・②を Google Jamboard に組み合わせる。Jamboard は付箋機能もついており、付箋の移動、文字の書き込み、図形の挿入も容易である。また、色ごとに付箋を使えるため、意図して整理することも可能である。シートもたくさん設けられ、各班でシートを担当すれば、他の班の意見も容易に見ることができる。意見の共有という点でも活用がしやすい。現在は、コロナ禍でグループ活動がなかなかできない状況にある。Google Jamboard の活用はソーシャルディスタンスの確保も図れるメリットがある。

手立て④Google Jamboard を用いた意見の交換・深め

まずは一つの学習課題に対し、個人、グループの順で意見を出させる。付箋に意見を書かせて、意見交換をさせる。その後、タブレットに示されたシートを全体で共有し、学級で意見を深める。生徒の意見を引き出し、原因の重要性や時系列を考慮し、一つの『モデル』を作る。

手立て⑤Google Jamboardによって作成した『説明モデル』を参照した言語活動の充実

そして、最後にJamboardで作成した『説明モデル』を参照して、個人で「原因から結果」の流れで文章に起こす。第4部会社会科研究部では、第68次印教研で「文章にまとめ上げる力」の育成を提案された石澤孝明先生(現：八街中学校)の流れを継承し、言語活動の充実化を図ってきた。石澤先生での提案の中にも、フィッシュボーンなどの思考ツールを用いて、思考を整理し、文章化する取り組みが紹介された。それを発展させ、時系列や重要性を学級全体で考え、深めた『説明モデル』を活用すれば、文章化もより容易になると考える。また、原因の重要性は学級で議論はなされるが、どの原因が重要として、どのように文章にまとめるかは生徒に任せるものとする。

6 研究の内容・方法

研究内容

『説明モデル』の活用により、歴史的現象の原因を追究できたか。

Jamboardによる『説明モデル』で歴史的因果関係を追究し、原因と結果の流れを文章化する力が身に付いたか。

研究の方法

・学級で作り上げた『説明モデル』の分析。

・抽出生徒の文章、姿勢の変容から分析。

7 仮説の検証・授業の実際

【仮説1】

「結果」と「原因」の因果関係を観易い形で整理ができれば、生徒の思考も整理され、説明することや文章化することが容易になるだろう。

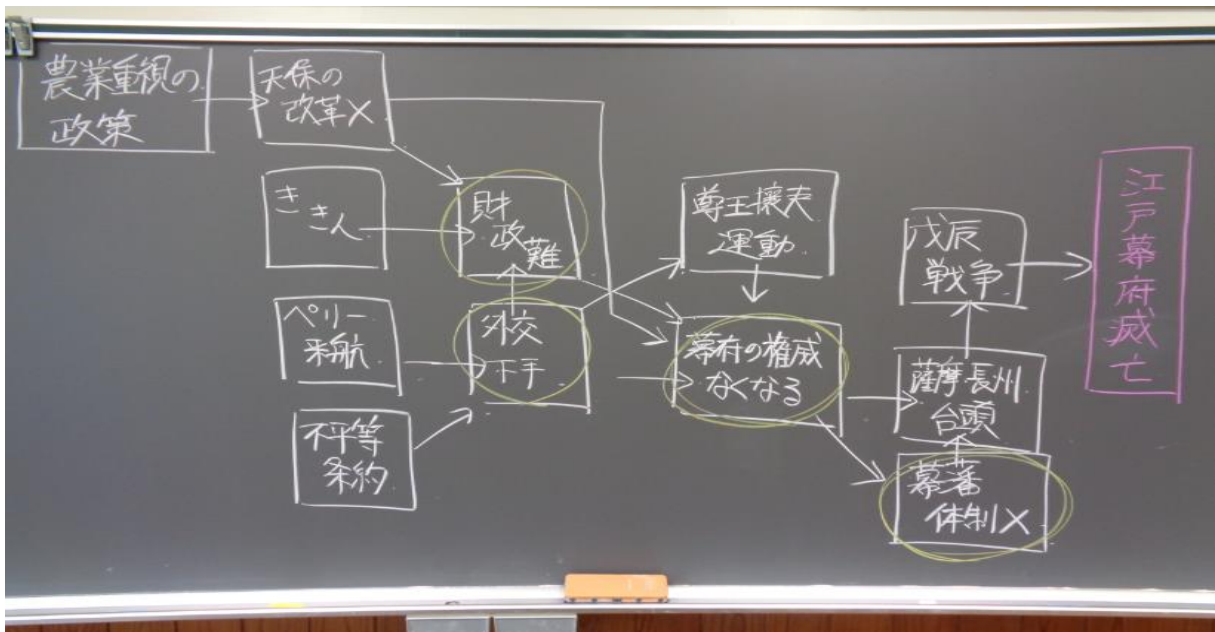
検証1 『説明モデル』により、生徒の思考は整理されたかどうか

急に『説明モデル』を取り入れても、生徒に必要感が生まれないと考え、身近な事例から、原因を追い求め、何が、どのように大切なのかを考えさせた。その例は以下の通りである。

例：体育祭応援賞を取れたのはなぜ? → 毎回の反省が良い → 練習が計画的 → リーダーの士気が高い → 団員の士気が高い
→ 目標がしっかり共有されていた → 目標設定と共有が大切だ

この事例から、「応援賞を取るためには目標設定や共有が何より大切だ」という実感を生徒が抱き、これが因果関係を追究することだと説明した。これを歴史にも応用すれば、原因がつかめ、流れが説明できるだけでなく、現代に生きる私たちが、その原因を繰り返さないようにすれば、歴史学習の意義も深まると説明を続けた。生徒は納得していた様子だった。

次に、生徒が既に学んでいる江戸時代を題材に「なぜ江戸幕府は滅びたのだろうか」という課題で原因を掘り下げさせた。生徒に意見を挙げさせ、教員が黒板に書き記し、それらがどれと関連しているかを質問し、矢印で結んだ。活動の結果は以下の通りである。



江戸幕府が減った原因を結果から、このようにまとめた。「江戸後期から飢饉が発生し、各藩では財政難に見舞われた。この頃から幕藩体制に不安が生じた。幕府の改革が失敗に終わる中で、外国の圧力も加わり、物価上層もあって庶民の不満も高まった。幕府の権威が落ちる中で薩摩・長州が台頭し、やがて戦争となって幕府は崩壊した。」という文章である。

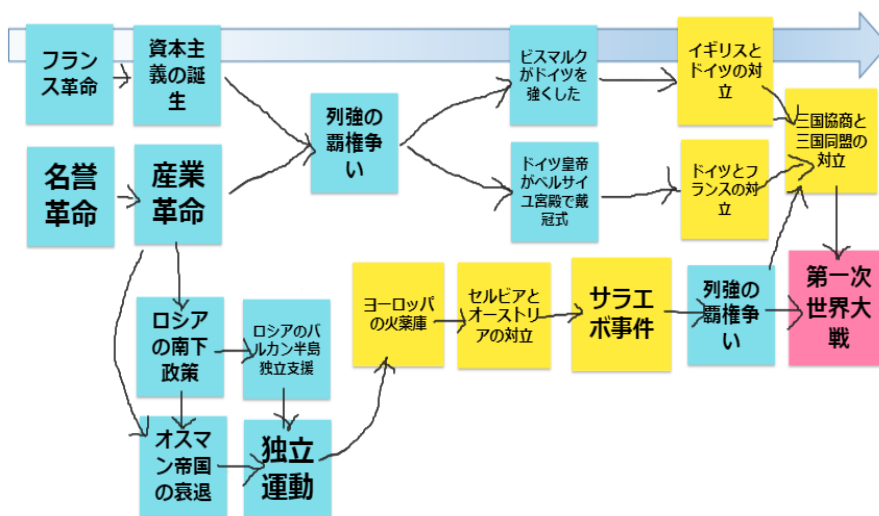
原因として「各藩の財政難」「外国の圧力」「薩長の台頭」を挙げ、中でも「幕藩体制の揺らぎ」が幕府を支えていた根底が崩れたことと繋げたのである。幕府が減ぶ中で幕末の出来事を簡潔に図式化することができた。

【仮説 2】

『説明モデル』の作成と Google Jamboard を組み合わせれば、歴史的因果関係を追究する活動がより活性化されるだろう。

検証 2 Jamboard を用いた『説明モデル』で、文章にまとめ上げる

「第一次世界大戦」にて「なぜ第一次世界大戦は起きたのだろうか」を学習課題に取り組みさせた。なお、「第一次世界大戦」の授業は 2 時間扱いとし、前時で第一次世界大戦の概要に触れている。グループで原因を考え、最後に学級で討論を重ねてできた Jamboard による『説明モデル』は以下の通りである。(資料編にも同様の資料がある)



第一次世界大戦を「結果＝従属変数(Y)」としてピンクで示し、「原因＝独立変数(X)」を青で、「その間に立つ事象＝媒介変数(Z)」を黄色で示した。以下の欄内に、学級で話し合い、考えを深めた活動を掲載する。

西村：はい。では第一次世界大戦の原因は何だったのでしょうか？

生徒1：直接的な原因は「サラエボ事件」だと思います。サラエボ事件はセルビアとオーストリアの関係が悪化した結果起こりました。

西村：そうですね。では、どうしてセルビアとオーストリアの関係が悪くなったのでしょうか？

生徒2：サラエボをオーストリアが取ったことが原因だと資料集に書いてあります。ここはヨーロッパの火薬庫と呼ばれていました。

生徒3：バルカン半島にロシアが進出したかった狙いもあります。独立も支援していましたし。

西村：そうですね…ではなぜバルカン半島で独立運動が激しくなったのでしょうか？

生徒4：オスマン帝国が衰退したことが資料集に書いてあります。なので、独立運動に関連します。

西村：オスマン帝国はなぜ衰退したのでしょうか？さすがにその理由はわかりませんか？

生徒4：……わかりません。でも、ヨーロッパが強くなったことと関係がありそうです。

西村：どうしてヨーロッパは強くなったのでしょうか？

生徒5：ヨーロッパが強くなったのは産業革命が原因だと思います。

生徒1：産業革命でヨーロッパが強くなった結果、植民地争いが激しくなったんじゃないかな？

西村：植民地は何のために得ようとしたんですか？

—長い間が生まれる—

生徒6：…お金を得るため？製品を外国で生産して、売るんですよ。

西村：そうです。資本主義が広がったのも要因ですね。様々な革命で資本家が出ましたね。

こうして考えると産業革命でヨーロッパが強くなったことが色々なことに結び付いていますね。

列強の覇権争いは結果として何をもたらしましたか？

生徒7：イギリスとフランスが仲悪くて、植民地を取りまくる結果となりました。

西村：ほかに、対立していた国はありますか？

生徒7：ドイツとイギリス、フランスも仲悪かった印象です。

西村：ではなぜドイツとフランスは関係が悪かったのですか？

生徒8：ドイツ帝国がベルサイユ宮殿で誕生したのは、さすがにフランスも怒ると思います。

西村：そうですね。実際にビスマルクも、フランスを孤立させる政策を執ったのですよ。

生徒9：前の授業で、新しい皇帝が新たな領地獲得を目指して、イギリスと対立したことを学びました。

「列強の争い」からイギリスやフランス、ドイツの関係のことが書けるとおもいます。

西村：結果として、2つの陣営ができましたね？何でしたっけ？

多くの生徒：三国協商と三国同盟！

生徒1：はい。結局、サラエボ事件も領地を得ようとする野心が働いた結果起こったと思うので、**第一次世界大戦が起きた根源は結局は「列強の覇権争い」なのではないか**と思います。

西村：ありがとうございました。では、様々な出来事が出ましたが、大戦の原因として、何が重要かを踏まえて、意見をプリントに書いてください。

討論を通して、様々な意見を出させ、並べ替えさせ、整理させた。上の討論を見ると、皆が意見を発表したわけではないが、違う考えを持つ生徒が資料を根拠に堂々と意見を述べ合い、

視点が広がった印象を受けた。この後、学習課題に対する考えを書かせた。生徒を抽出して、分析をする。次の生徒は、授業は受け身で記述は苦手である。テストは平均点以下である。

【Jamboardでの活動を経て、あなたの考えを文章にまとめてみましょう】

ビスマルクの「クビ」は、欧州最大の悲劇であった。
彼の築いた複雑な外交関係は、本来強国vs
弱国の戦争で済んだはずの戦争を、世界規模の戦争
に、ヨーロッパ全体の衰退を引き起こした。

この生徒は文章を読むことを苦手としており、教科書などから根拠を導き出すことも苦手としていた。しかし、この生徒は文章として、自分の意見をまとめ上げることが出来た。大戦が起きた原因について「ビスマルクの罷免」と「ヴィルヘルム2世の世界政策」が更なる緊張の激化に繋がったと捉え、大戦が起きた結果に結び付けた。それ以上に、大戦によってヨーロッパが衰退に向かっていったことにも触れられ、因果関係を掴んで文章化できた。後に話を聞くと、図式化した資料であれば、時系列を追いやすく、文章も書きやすかったという。

もう一人、テストの点数が平均点以上取ることができ、歴史に関心の高い生徒の記述を抽出したい。どちらかといえば、一問一答を得意とする生徒で、発想を膨らませるよりかは、授業で習ったことを忠実に獲得していくタイプの生徒である。

【Jamboardでの活動を経て、あなたの考えを文章にまとめてみましょう】

国同士の仲が悪かったのもあるが、
そのこと以前に、ロシアの南下政策、バルカン戦争、独立運動、革命、
3B政策、ビスマルク殺害など、各国が行った(起こした)出来事が
他国にとって悪くなり、不満が高まってしまったことで
今回のサラエボ事件のような後に世界に広がる第一次世界大戦
が起こった。

この生徒もビスマルク罷免について触れている。(殺害と間違った部分もあるが…)しかし、この生徒が第一次世界大戦が起きた、そもそもの原因として一番に挙げてきたのは「各国の関係が悪化していた」ことであり、そこから南下政策や独立運動、革命、3B政策などに発展したと述べた。結果として第一次世界大戦が起こったと総括した。何が原因で第一次世界大戦が起きたのか、根拠は人それぞれではあるが、どれも一理あるものである。

また因果関係を追究する授業として「なぜ第二次世界大戦は起こったのか」「なぜ太平洋戦争は起こったのか」の2つも行った。出来た説明モデルとまとめの文章は資料編Pに記載し

た。

※なお本研究では「世界の国々などが関連する、複雑な出来事」、「時代の終わりから、原因を追究するもの」を探求題材として取り扱った。(例：第一次世界大戦など)生徒にとって、因果関係が見えにくく、原因を挙げることに困難を感じるであろうと推測した結果である。

8 結論

検証1より

○『説明モデル』の活用により、歴史的事象の原因を見出す力が身についた。原因を列挙し、時系列などに並べ替えて、結果まで繋ぐ力が身についた。

○第一次・第二次世界大戦などの複雑な事象が絡む単元において、知識の整理に役立った。

検証2より

○Jamboardの活用により、生徒の意見交流が進み、学級全体で『説明モデル』を深めることができた。故に、それを基にして文章にまとめることもできるようになった。

9 研究の成果(○)と課題(▲)

○Google Jamboardを使うことで、学級単位で意見が多く出てくることが分かった。また、シートを変えれば、すぐに他の班の意見も見られるため、他班からも学びやすい。

○2つの大戦は、様々な知識をこんがらがって覚えてしまう傾向にあるが、知識を整理した上で文章に起こすことができた。

○結果から原因を追っていく手立てを通し、時代を大観して、原因を追究することができた。

▲コロナの関係もあり、机を向かい合わせて班活動ができなかった。そのためのJamboardであるが、PCに向かう形になるので、真剣に取り組んでいるのかが判別しにくいと感じた。

▲意見を出す過程はスムーズにいくが、深める手段をもっと考える必要がある。(特に学力が厳しい生徒が、どうしたらより考えられるようになるか。)

▲知識を定着させていないと、時系列の整理や因果関係を追うことも厳しい。(今回は1問1答形式の動画などを活用したため、定着が図れていた)

—参考文献・資料・引用—

(1) 社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』第号 24

歴史事象の因果関係を「説明」する中学校社会科歴史授業の開発

一単元「武士の台頭と武家政権の成立」における『説明モデル』の作成を通して—pp.62,64 から引用

(2) 社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』第号 24

歴史事象の因果関係を「説明」する中学校社会科歴史授業の開発

一単元「武士の台頭と武家政権の成立」における『説明モデル』の作成を通して—pp.66 から引用

(3) 社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』第号 24

歴史事象の因果関係を「説明」する中学校社会科歴史授業の開発

一単元「武士の台頭と武家政権の成立」における『説明モデル』の作成を通して—pp.69 から引用

○原田智仁『高校社会 「歴史総合」の授業を創る』(明治図書、2019年12月)

第71次印旛地区教育研究集会
(社会科教育・中学校)

**歴史的因果関係を追究し、文章にまとめ上げる力を
育む社会科学習の在り方**

— 『説明モデル』、Jamboard の活用を通して —

資料編

西村 三郎 (ニシムラ サプロウ)

第四部会・八街市立八街中央中学校

1、事前アンケートの結果（八街中央中学校）

令和三年度 八街市立八街中央中学校 3学年 回答生徒数 140人

1、あなたは社会科の授業が好きですか？

そう思う＝76% ややそう思う＝20% あまり思わない＝2% 思わない＝2%

2、あなたは歴史の授業(日本史)が好きですか？

そう思う＝41% ややそう思う＝45% あまり思わない＝13% 思わない＝1%

3、あなたは歴史の授業(世界史)が好きですか？

そう思う＝31% ややそう思う＝55% あまり思わない＝12% 思わない＝2%

4、あなたは歴史の授業(現代史)が好きですか？

そう思う＝28% ややそう思う＝35% あまり思わない＝31% 思わない＝6%

5、歴史的な出来事は現代の事象とつながっていると思いますか？

そう思う＝55% ややそう思う＝33% あまり思わない＝10% 思わない＝2%

6、世界の出来事が日本での出来事に影響を与えている(またはその逆)と思いますか？

そう思う＝51% ややそう思う＝43% あまり思わない＝4% 思わない＝2%

7、あなたは、歴史の出来事を文章に表して説明することが得意だと思いますか？

そう思う＝17% ややそう思う＝38% あまり思わない＝40% 思わない＝5%

8、あなたは歴史を勉強することに、どのような意味を見出していますか？

- ・他の国の歴史を知ること、外国との違い・価値観を知り深く興味を持つことができる。
- ・日本や世界の失敗を繰り返さないようにすることができる。
- ・過去にあった出来事を知ることの大切さ
- ・日本のために尽力してくれた人のことを学ぶことで今につながったことがわかる。
- ・物事について深く考える力が身についたりできる。
- ・過去の政策やできごとを学ぶことで、どんなことがどんな影響を及ぼすのか考えることができる。
- ・今の時代につながる大切な勉強だと思う。
- ・過去に起こったことを学び、今に活かしたり、過去を教訓にすることができると思う。

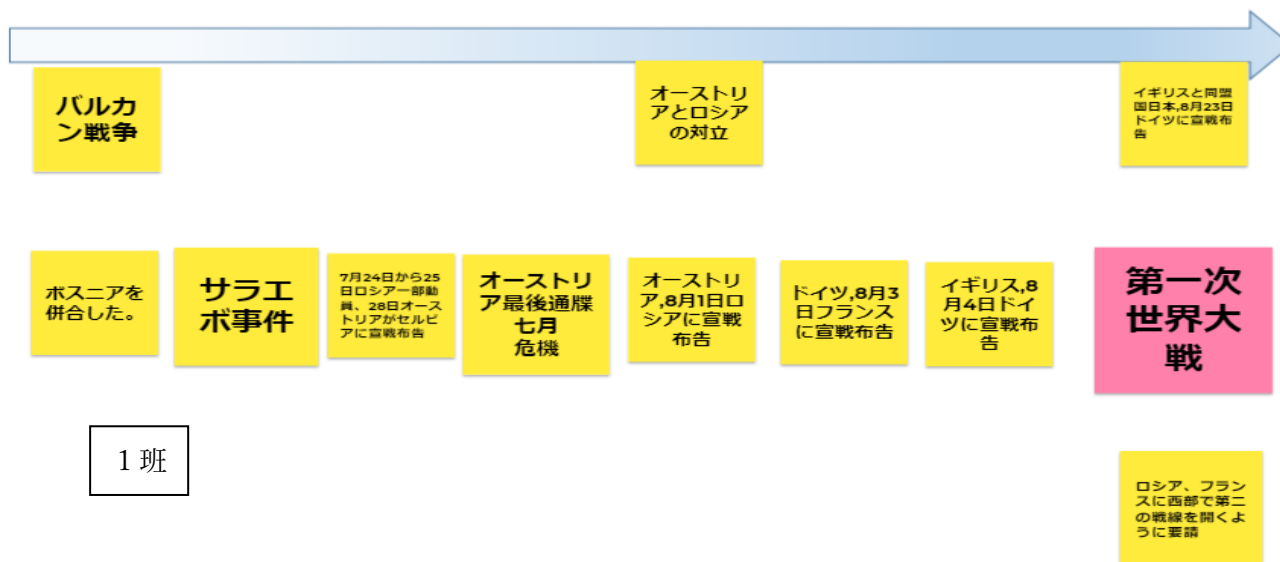
9、歴史を学ぶ上で難しいと感じていることは何ですか？

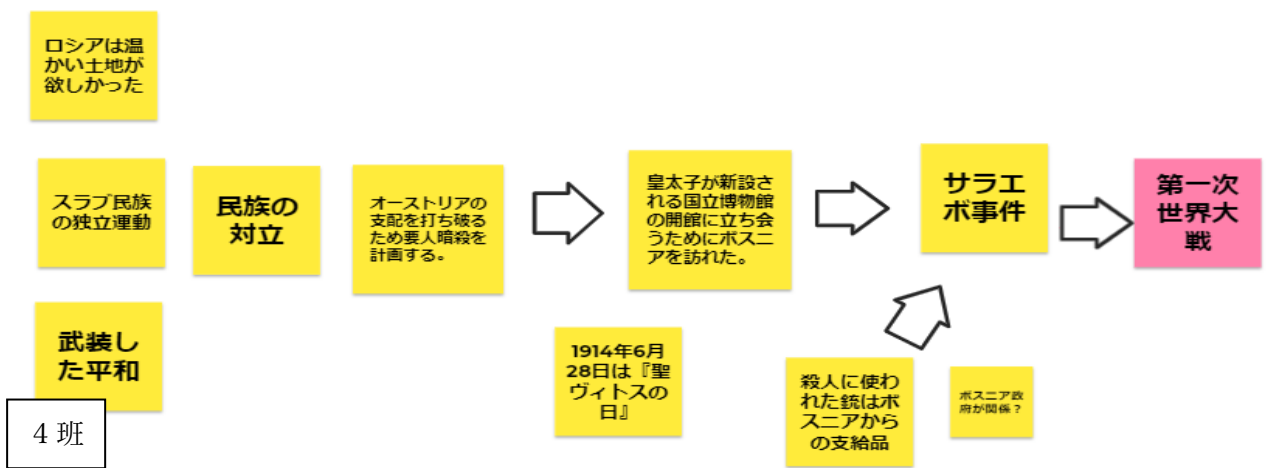
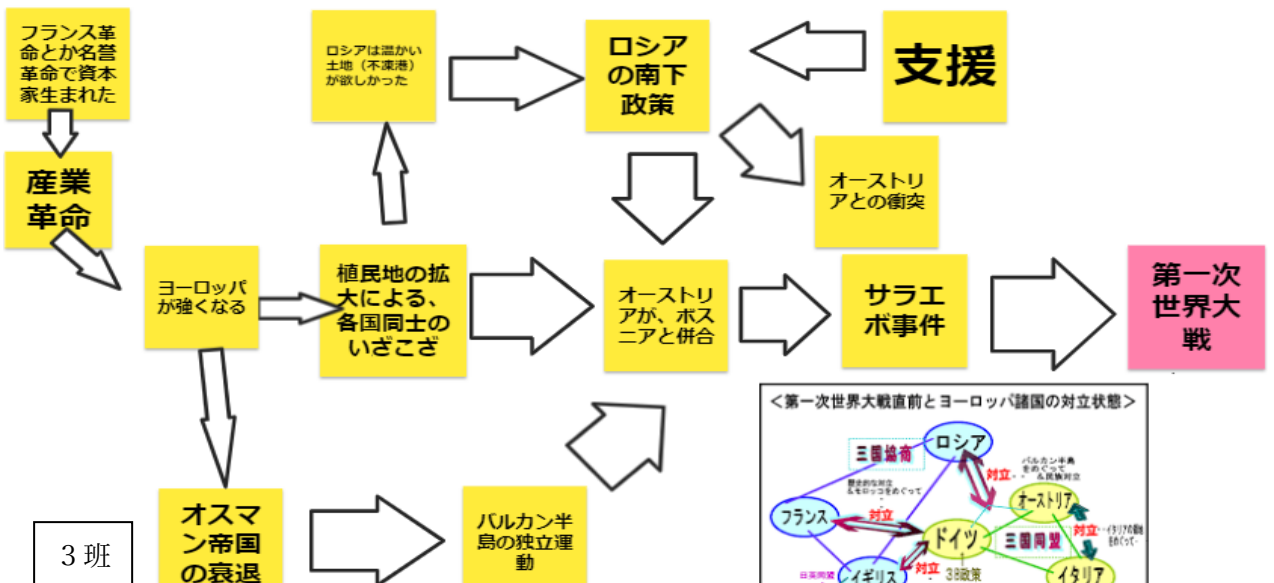
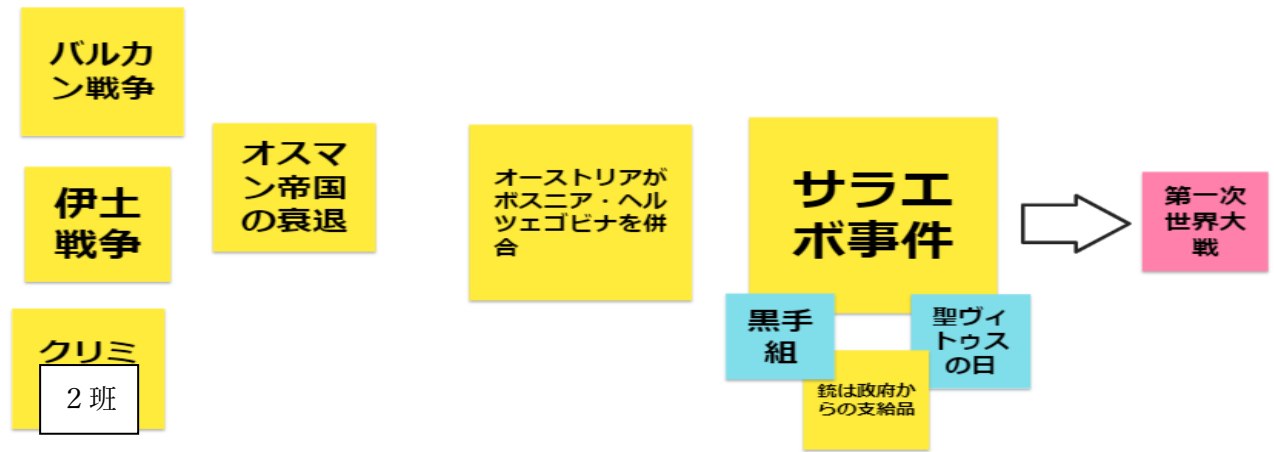
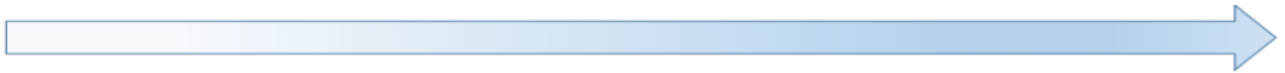
- ・年代を覚えること。 ・出来事の繋がり ・人物名を覚えること
- ・年号が覚えられない ・語句を覚える ・何かをしたときのその人の心情
- ・登場人物が多い ・人物との繋がりや語句を覚えること。
- ・時代と時代のつながりが切れてしまう ・漢字
- ・政党名がごちゃまぜになる

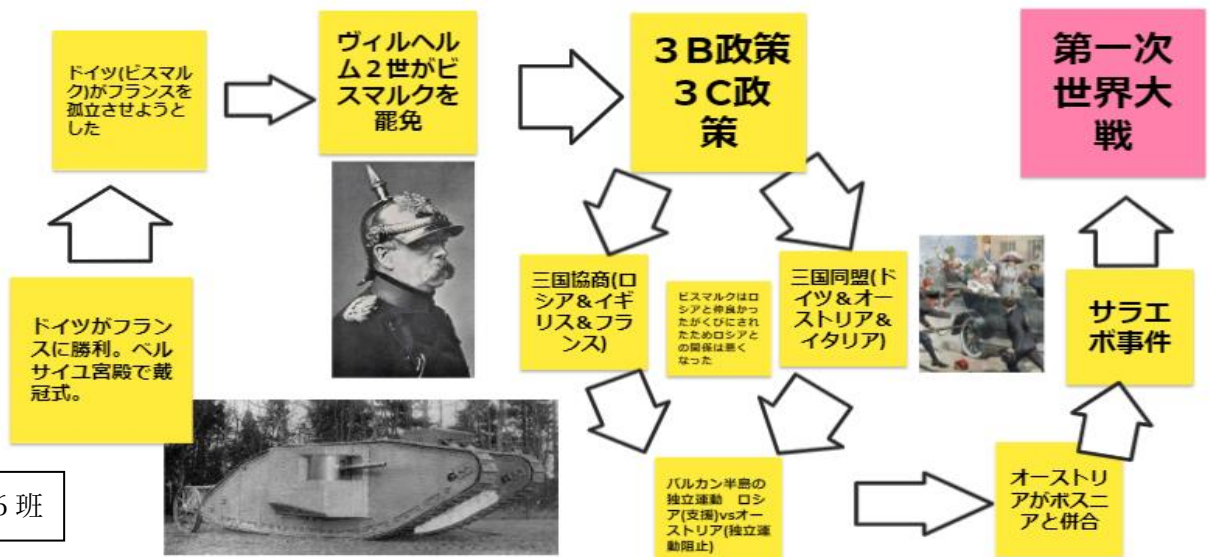
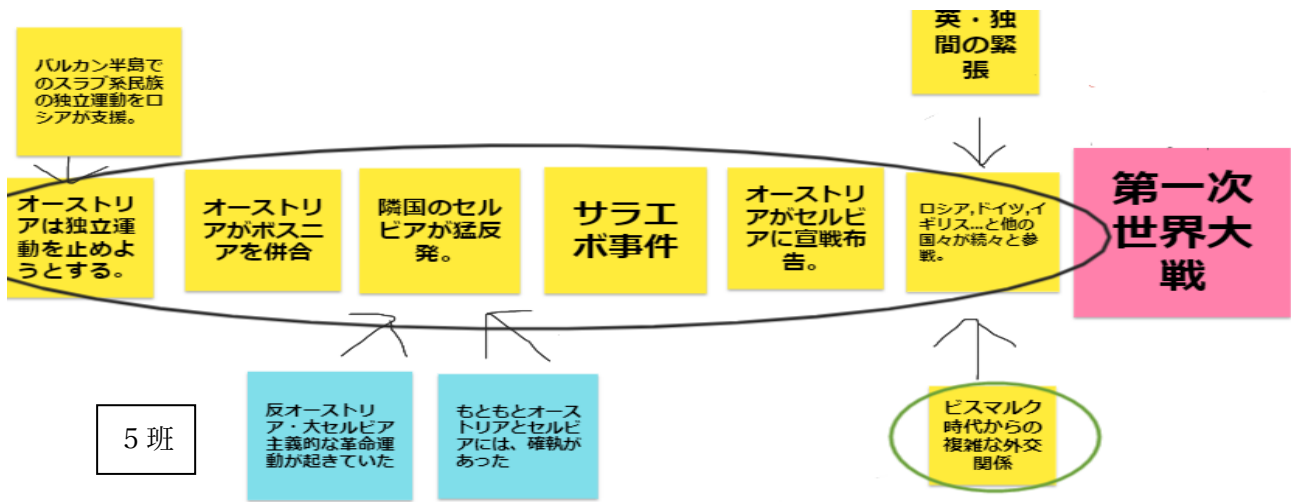
2、事後アンケートの結果(八街中央中学校)

令和三年度 八街市立八街中央中学校 3学年 回答生徒数 140人			
1、あなたは社会科の授業が好きですか？	そう思う＝78%	ややそう思う＝18%	あまり思わない＝2% 思わない＝2%
2、あなたは歴史の授業(日本史)が好きですか？	そう思う＝44%	ややそう思う＝42%	あまり思わない＝13% 思わない＝1%
3、あなたは歴史の授業(世界史)が好きですか？	そう思う＝46%	ややそう思う＝40%	あまり思わない＝12% 思わない＝2%
4、あなたは歴史の授業(現代史)が好きですか？	そう思う＝36%	ややそう思う＝30%	あまり思わない＝28% 思わない＝6%
5、歴史的な出来事は現代の事象とつながっていると思いますか？	そう思う＝55%	ややそう思う＝38%	あまり思わない＝5% 思わない＝2%
6、世界の出来事が日本での出来事に影響を与えている(またはその逆)と思いますか？	そう思う＝52%	ややそう思う＝42%	あまり思わない＝4% 思わない＝2%
7、あなたは、歴史の出来事を文章に表して説明することが得意だと思いますか？	そう思う＝25%	ややそう思う＝48%	あまり思わない＝22% 思わない＝5%

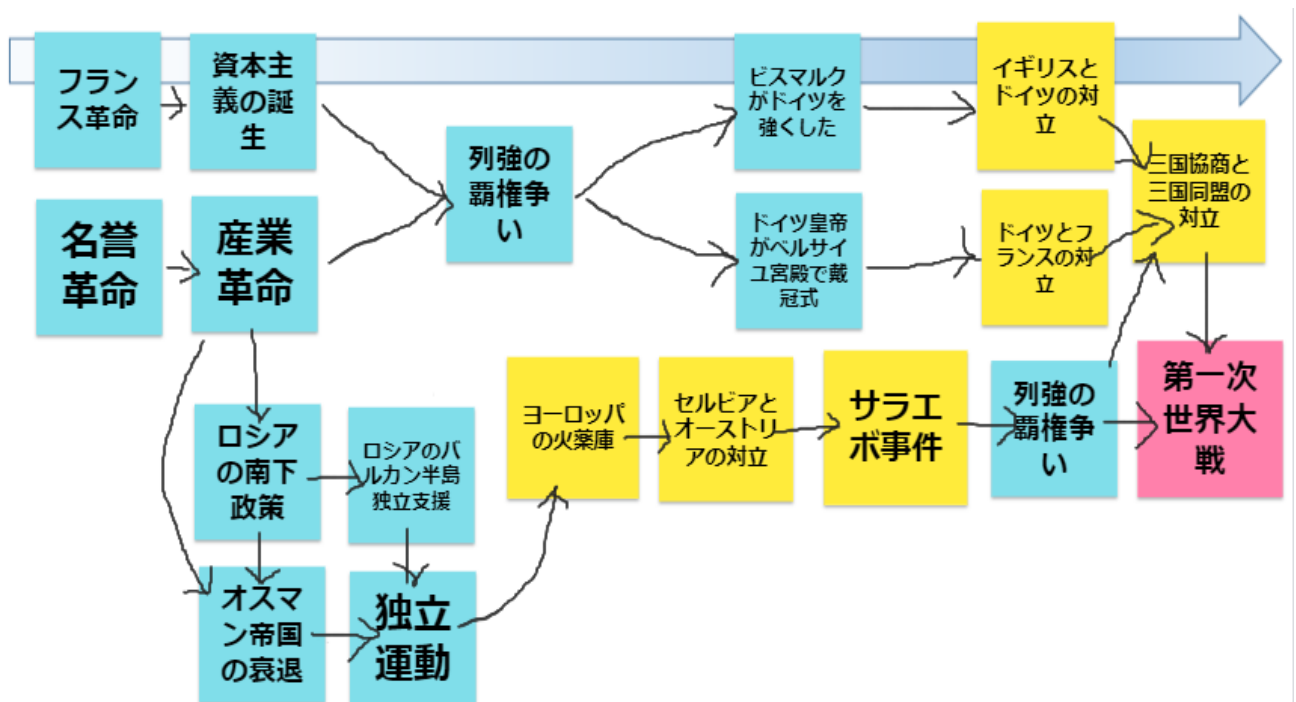
3、Jamboard を用いた『説明モデル』－第一次世界大戦－







4、完成したJamboardを用いた『説明モデル』—第一次世界大戦—



5、この『説明モデル』を参照して、まとめた生徒の意見

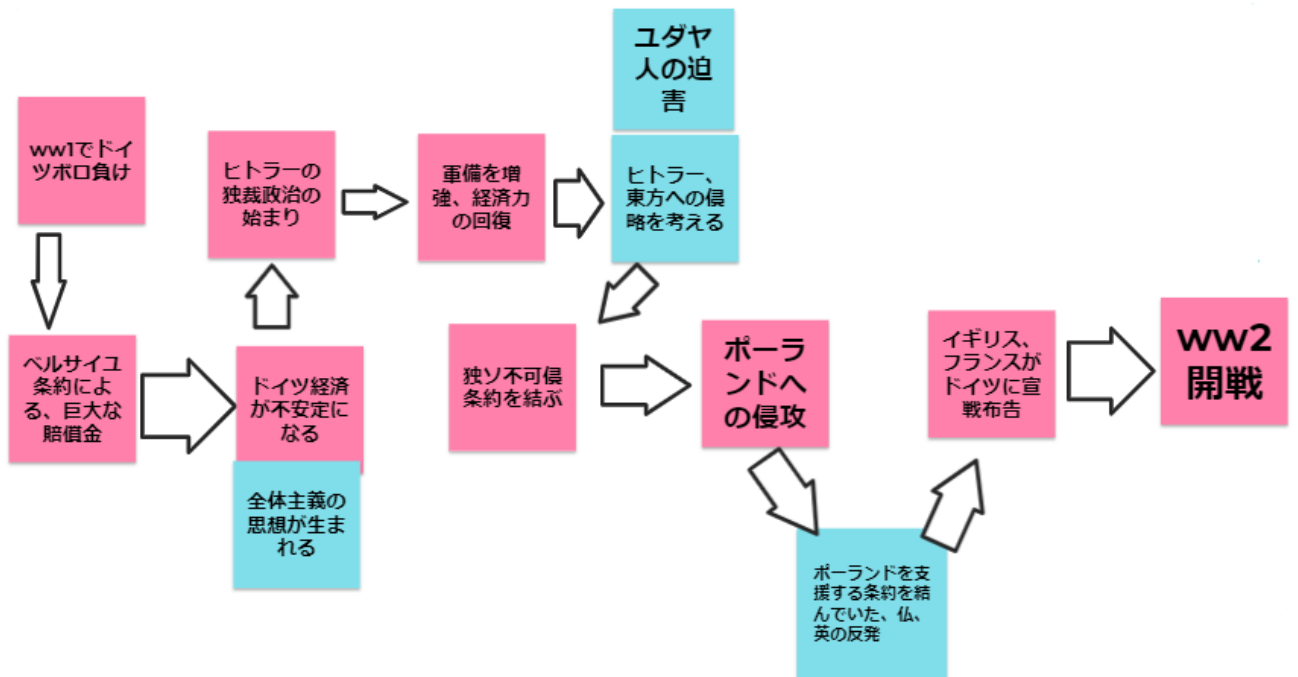
【Jamboardでの活動を経て、あなたの考えを文章にまとめてみましょう】

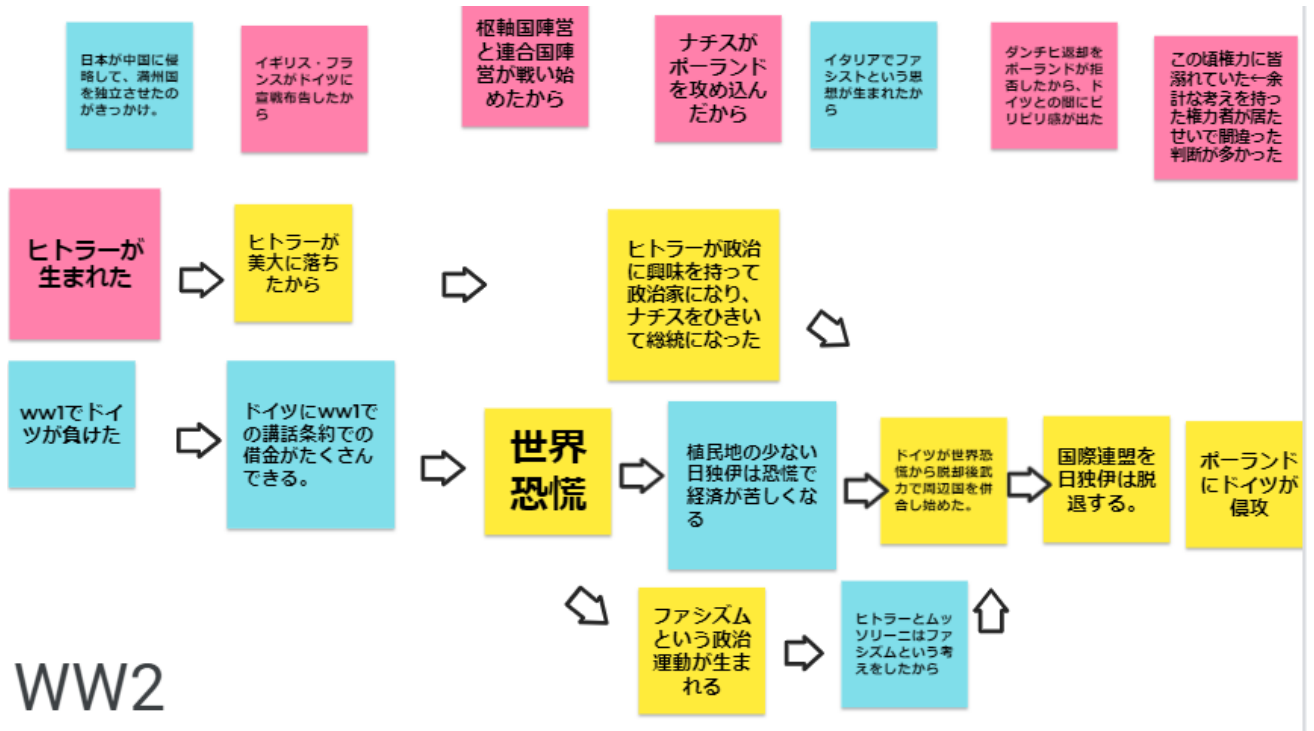
昔奥戦争が起きてロシアの南下政策があった（ロシアは温かい土地が欲しかった。そこからオーストリアがボスニアと併合した）サレボ事件が起きて、第一次世界大戦が起きた。

【Jamboardでの活動を経て、あなたの考えを文章にまとめてみましょう】

国同士の仲が悪かったのもあるが、そのこと以前に、ロシアの南下政策、バルカン戦争、独立運動、革命、3B政策、ビスマルク殺害など、各国が行った（起こした）出来事が他国にとって悪くなり、不満が高まってしまったことで今回のサレボ事件のような後に世界に広がる第一次世界大戦が起こった。

6、Jamboard を用いた『説明モデル』 — 第二次世界大戦 —





7、この『説明モデル』を参照して、まとめた生徒の意見 一第二次世界大戦

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

WW2は WW1でドイツが負けてしまうところから始まってしま
う。WW1でのベルサイユ条約でドイツには多大な借金かてある。
借金を返済している最中、世界恐慌が起きてしまい、植民地の
少ない 独伊日(後の枢軸国)は経済が苦しくなり、1917年インフルが起
こり、国が大混乱。人々は強い指導者を求める。そこで、「ファシズム」を
かかげる。ムッソリーニ、ヒトラーが現れ、国の先頭にたち、国を先導してい
く。そこで、国際協調の雰囲気はなくなり、独伊日は国連を脱退し、
ドイツはベルサイユ体制をやめる。そして、独ソ不可侵条約をして、ポーランド
に侵攻。ポーランドと条約を結んでいた英仏は、ドイツに宣戦布告。
第二次世界大戦が始まってしまう... 思判表

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

WW1でドイツが敗北し、多額の賠償金をふっかけられ、回復してきた経済も世界恐慌で破綻してしまい、国内不安からナチスの台頭を促し、強引な領土拡大政策により周辺の大國との亀裂を生み、ポーランド侵攻での亀裂が噴出し、大戦争となった。

思判表

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

WW2開戦の理由は、まずドイツがWW1により、ドイツがボロ負け、ベルサイユ条約により、多額の賠償金を負う。これにより、ドイツ経済が不安定になった。しかし、ヒトラーの独裁が始まったことにより、ユダヤ人が迫害されながらも、経済力を回復させていった。そこから、東方への侵略を考え、ソ連と、独ソ不可侵条約を結び、ポーランドをソ連と支配した。しかし、それをよく思わなかった。英、米が、ドイツに宣戦布告をしたため。

思判表

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

ヒトラーから始まった。→ 美大に落ちている川内は元も政治家
 WW1でドイツが負けてしまい、そこからの**Versailles** になってない
 下借金が出て、世界恐慌していった。

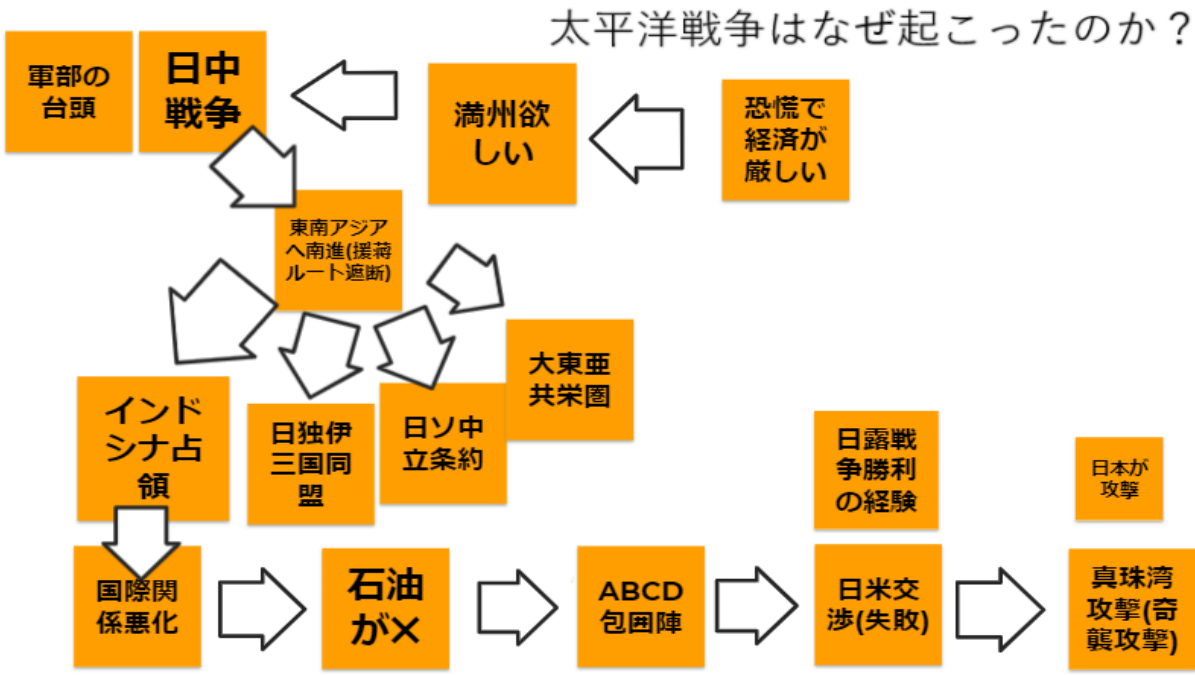
経済が厳しくなっていた。

↓

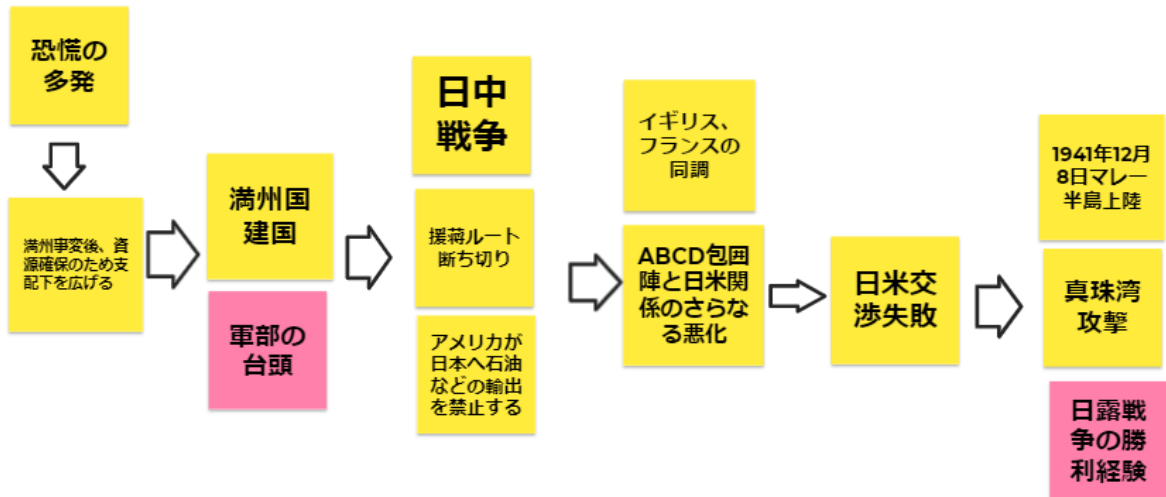
「これからどうにかしようとしたら、ドイツでヒトラー
 という政治家が世に出てしまっ。権力におぼれま
 らがった。判断をくり返した結果他の国も巻き込んで来た
 ところから他国との領土の取り合い、下あたり、人種差別
 という事が増えたり、規模が大きくなった。世界で
 の戦いは第二次世界大戦という形で戦争が始
 まっていった。」

思判表

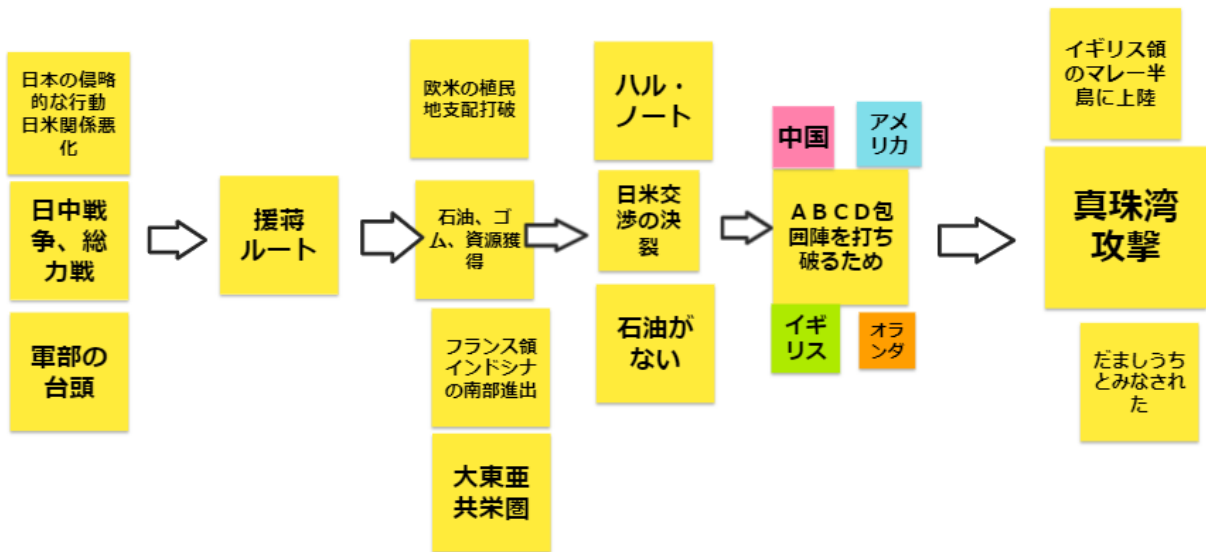
8、Jamboard を用いた『説明モデル』 —太平洋戦争—



太平洋戦争はなぜ起こったのか？



太平洋戦争はなぜ起こったのか？



9、この『説明モデル』を参照して、まとめた生徒の意見 ー太平洋戦争ー

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

日本は恐慌後に支援を得るためにアジアに支配下を広げていた。
アメリカはこれに不満をもち、石油輸出を禁止する。ABCD包囲陣を
築いた日本は日米交渉をおこなうが、失敗に終わる。日露戦争、
勝利の経験のある日本はアメリカに先行政奪をし、太平洋戦争
がはじまった。

思判表

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

1894年頃、日本は中国への進出を始めた。そして、1931~1932年に満州を
獲得した。ところが1937年 盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が始まる。この
日中戦争は長期化し、その影響とその頃起きていた恐慌の影響で資源不足
に陥る。資源獲得のため東南アジアに進出し始めた日本だが、アメリカから
圧力をかけられ不利な状況に。そしてABCD包囲陣の影響で軍需品
も不足した。アメリカに国交調整を交渉したが、アメリカはこれを断る。
それに不満を持った日本は、ハワイの真珠湾を奇襲。これをきっかけに
太平洋戦争が始まる。(1941年12月7日)

思判表

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

恐慌で経済が衰えた。たがから満州を支配下にしたいが原因で
日中戦争が起こる。資源不足を補うために東南アジアに進出する。
日英伊三國同盟や日米中三國協定を結んで安全を確保して、フランス領インド
シヤンを。日米関係が悪化し、日米交渉を失敗する。アメリカは石油輸出
禁止をしそれと同盟を結ぶ(ABCD包圍陣)。これを打ち破るために日米
が話し合いをした。そして、1941年12月8日に真珠湾攻撃をし、太平洋戦争
を始めた。

思判表

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

満州事変、日中戦争と並ぶ15年の戦争。その間に長期化した日中戦争の
影響で、資源が不足していき、資源獲得を目的に東南アジアに進出する。
そこでアメリカが中国、イギリス、フランスらとともに、石油などを輸出禁止
するABCD包圍陣などの経済制裁をする。1941年11月に日米開戦協定が
承認されてから真珠湾を奇襲攻撃したこと太平洋戦争が始まる。

思判表

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

日本は、満州事変後に資源確保のため、シモンズなどを配下に置いた。そのことに対し、不満を持ったアメリカは、イギリス、中国、フランスと共に ABCD 包圍陣を行い、石油の輸入をできなくなるようにした。その他にも日本は日米交渉を失敗したため、当時イギリス領だったマレー半島に上陸した。→日露戦争の勝利経験もあつたからであろう。その1時間後、ついにアメリカの真珠湾を攻撃した。そしてアメリカは日本に戦意不協をし、太平洋戦争が始まった。

思判表

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

日本は、恐慌の卵筈で苦しくなり、アジアの国々を支配して、たまたま中国の満州を支配して、満州国を建国した。これに、アメリカが不満を持ち、石油などを輸出しなくなった。これに、フランス、イギリスも同言同して、日本がアメリカの敵のようになってしまい、そこから ABCD 包圍陣ができて戦争。主張が高まったとして、日本が、アメリカの真珠湾を攻撃して、イギリス領のマレー半島に上陸し、太平洋戦争が始まった。
(日露戦争で勝利し、自信があった?)

思判表

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

日本の中国大陸進出(1894年)→満州(中国東北部)の獲得(1931-1932)→日中戦争勃発 応酬化(1937)→資源不足
→東南アジアへの進出(南方進出)(1940-1941)→アメリカの圧力
ABC包囲網(1940-1941)→日米交渉失敗(1941)→開戦(1941)という流れで起きました。

思判表

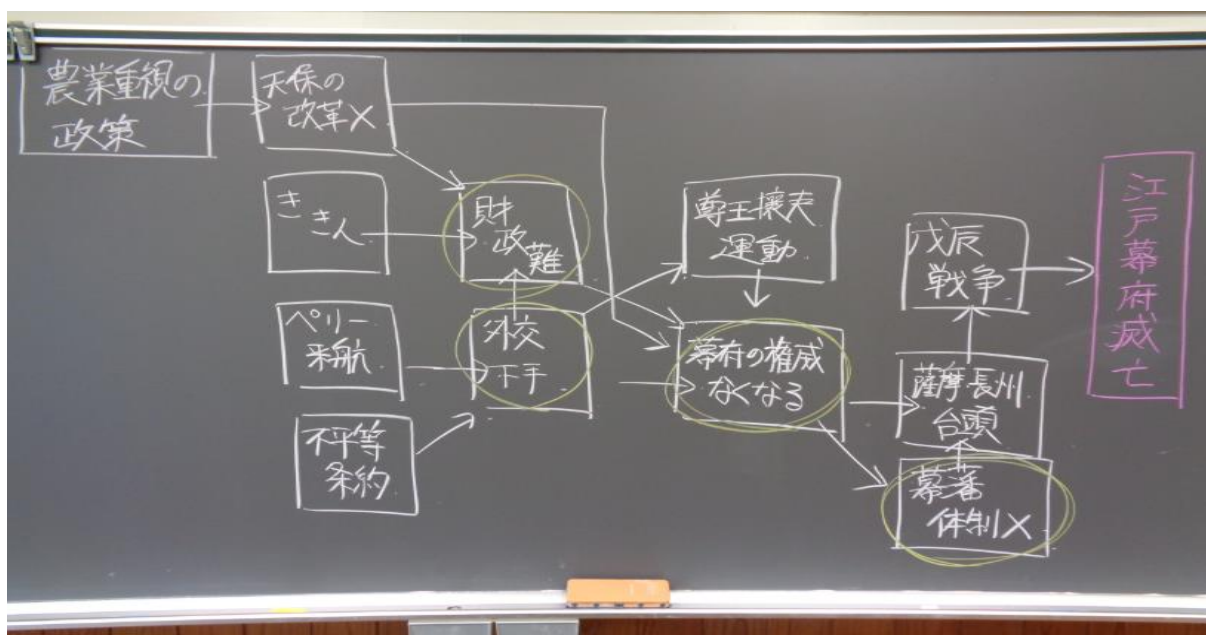
開戦(1941-12)→緒戦の快速撃(1941.12-1942.5)→戦局の転機(1942.6-1943.2)→戦線の崩壊(1943.3-1944.7)→連合軍日本本土へ侵入(1944.10-1945.3)→中絶戦争(1945.3-6)→ポツダム宣言から終戦へ

【Jamboard でまとめた図から、その戦争が起こった原因と経緯を説明してみよう】

ワシントン会議で日米関係が悪化(1922)→日中戦争で
中国にアメリカが協力した(1941)→日米関係が崩壊
真珠湾攻撃し太平洋戦争となった。
(アメリカから石油が来なくなり 困窮し始めた。日米交渉に失敗)
勝てない敵に攻撃していった。結果負けた

思判表

10、『説明モデル』の導入として使った、江戸時代に関する『説明モデル』



11、八街中央中学校における、Jamboard を用いた他の実践（内山慧太郎教諭）

- ① 国立歴史民俗博物館の資料『江戸図屏風』を chromebook で見て、以下の人を探し出し、どのような身分で、どのような仕事をしていた人かを考える。
- ② 『なぜ、江戸時代が260年も続いたのか(生活の様子から)』を学習課題とし、考えた意見を文章にまとめあげる。

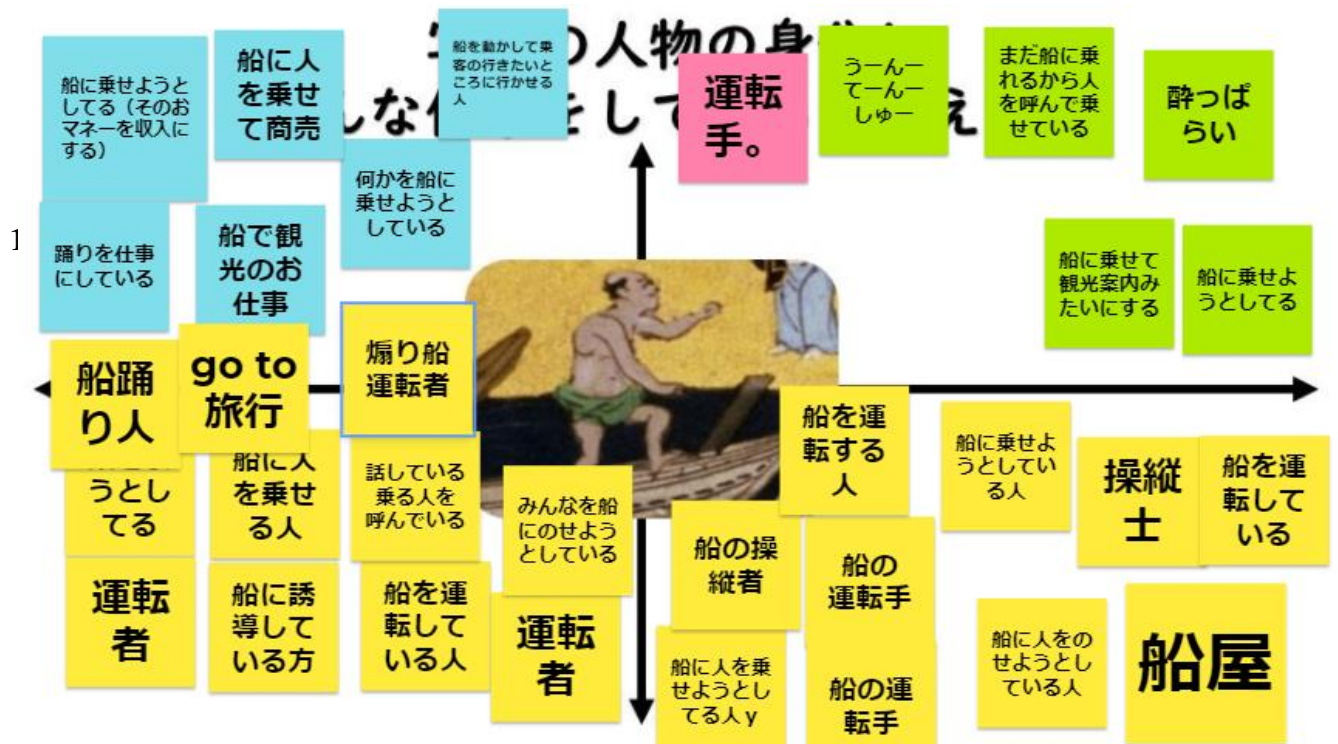
○次の写真の人物の身分とどんな仕事をしているか。江戸図屏風から探して考えよう。

武士 → **ピンクの付箋**

百姓 → **緑の付箋**

職人（町人） → **黄の付箋**

商人（町人） → **青の付箋**



○江戸時代が約 260 年間続いた理由を江戸の生活から考えてみよう。

思判表

新しい職がとんとん生まれ、貧しい百姓でも金かるとれるため、幕府への不満があまりなかったから。新しい職が生まれた理由は、もともと金かたなかった百姓は農業しかやることかたないためまたかできたから。

○江戸時代が約 260 年間続いた理由を江戸の生活から考えてみよう。

思判表

江戸時代で、それぞれの身分に応じて、それぞれ仕事をしていると思う。写真から見ると、あまり苦そうじゃなくて、少し楽しそうという感じが、それぞれの職を充実していると思う。なので、一輪など「か」起からず、260年間平和に続いたのだと思う。また、市場を提供した、道が整備されてより、活はついているから。

○江戸時代が約260年間続いた理由を江戸の生活から考えてみよう。

思判表

華やかで活気があって経済も安定していて平和
だったから。また町人や百姓などがあまり不満
を持たず幕府に従っていた。金貨も豊富で安定した
ためこの考えが最新の考えだと思っており、外国
の近代化が分からなかったから。

○江戸時代が約260年間続いた理由を江戸の生活から考えてみよう。

思判表

全ての身分の人に対応した生活しやすい時代であって、

それぞれ娯楽の習慣があった、

世の中に経済回転ができて、生活環境が定着して、

住みやすい環境ができてあがったから、

参勤交代で、対抗しようにも、金が足りずに対抗できなかったから。

○江戸時代が約260年間続いた理由を江戸の生活から考えてみよう。

思判表

物を売る人や荷物を運ぶ人や船関係のお仕事の人や、芸者さん、芸の楽しさを教えた
いる人が、上の写真以外にもたくさんいると考え、みんな平和に暮らしてい
たと思うので、江戸時代は長く続いたんじゃないかと思います。他にも、建物の近
くに大人や子供が楽しそうに町を回っている気がしたので、それを合わせて、江戸時
代は平和でまだやかな時代だったので長く続いたんじゃないかと思いました。

○江戸時代が約260年間続いた理由を江戸の生活から考えてみよう。

忠判表

江戸の生活が長く続いたのは商人や職人がいることでお金が回って物を運んでくれたり船を使っている人や踊り人を雇わせて人がいた。お金が回って服装なども違くて身分がはっきりして厳しかったけど自由で楽しかったらと思う。色々人がいた

○江戸時代が約260年間続いた理由を江戸の生活から考えてみよう。

忠判表

暮らしている人々が一々、平和に過ごしていて④の人みたいに、楽しく暮らしている人がいるから、江戸時代の文化をこれからも続けていきたい、と人々が考えて、江戸時代が続いた。なので約260年間という長い時代を一人一人が無事に楽しく暮らした。

○江戸時代が約260年間続いた理由を江戸の生活から考えてみよう。

忠判表

さまざまな職業の人々がいることによって、争いが減り、平和になったから。身分が区別された影響で個人での仕事が増えた。参勤交代をしたことで、貧しくなり、争う気力がなくなった。仕事が増えにぎやかになり、生活が貧しくなかったため、幕府への不満がたまりなかったから。